

上腕ホルダーM

【禁忌・禁止】

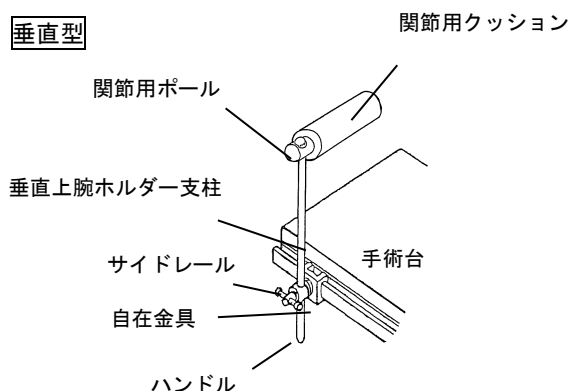
〈使用方法〉

当社及びタカラ Belmont 製の高さ 32mm×板厚 9mm のサイドレールを使用する手術台以外には、取り付けて使用しないこと。[安全性が保証できないため]

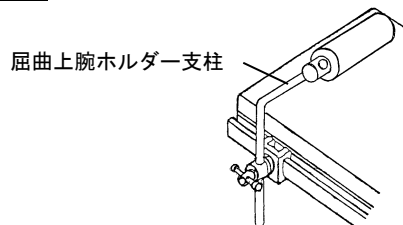
【形状・構造及び原理等】

1) 外観図

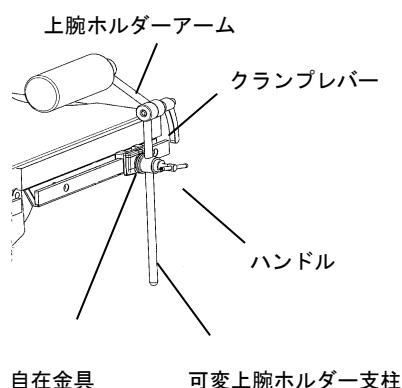
垂直型



屈曲型



可変型



2) 機器の仕様

垂直型

- ①自在金具のハンドル操作により、垂直上腕ホルダー支柱を手術台のサイドレールに取り付けることができます。
- ②自在金具のハンドル操作により、垂直上腕ホルダー支柱の取付高さを調節し、前後に回転させることができます。
- ③自在金具のハンドル操作により、垂直上腕ホルダー支柱を 360° 回転させることができます。

- ④自在金具のハンドル操作により、垂直上腕ホルダー支柱の取付高さを 350mm の範囲で調節できます。

屈曲型

- ①自在金具のハンドル操作により、屈曲上腕ホルダー支柱を手術台のサイドレールに取り付けることができます。
- ②自在金具のハンドル操作により、屈曲上腕ホルダー支柱の取付高さを調節し、前後に回転させることができます。
- ③自在金具のハンドル操作により、屈曲上腕ホルダー支柱を 360° 回転させることができます。
- ④自在金具のハンドル操作により、屈曲上腕ホルダー支柱の取付高さを 320mm の範囲で調節できます。

可変型

- ①自在金具のハンドル操作により、可変上腕ホルダー支柱を手術台のサイドレールに取り付けることができます。
- ②自在金具のハンドル操作により、可変上腕ホルダー支柱の取付高さを調節し、前後に回転させることができます。
- ③自在金具のハンドル操作により、可変上腕ホルダー支柱を 360° 回転させることができます。
- ④自在金具のハンドル操作により、可変上腕ホルダー支柱の取付高さを 320mm の範囲で調節できます。
- ⑤クランプレバーの操作により上腕ホルダーアームを 315° 回転させることができます。

共通

許容負荷荷重: 関節用クッション中央部に 100N (10kgf)

〈動作保証条件〉

下記の条件にて使用すること。(ただし、結露しないこと)
周囲温度 10~40℃ 相対湿度 30~75% 気圧 700~1060hPa

【使用目的又は効果】

本機は、手術台に取り付け、側臥位の患者の上腕を支える為に使用する。

【使用方法等】

- 1) 取付・設置 (組立・据付)

垂直型

- ①自在金具を手術台のサイドレールに取り付け、上から垂直上腕ホルダー支柱を挿入し、自在金具のハンドルを時計回りに廻して固定します。
- ②自在金具のハンドルを反時計回りに廻して、垂直上腕ホルダー支柱の高さと角度を調節し、ハンドルを時計回りに廻して固定します。
- ③自在金具のハンドル操作で取付高さの上下、回転、固定が正常に作動することを確認します。

屈曲型

- ①自在金具を手術台のサイドレールに取り付け、上から屈曲上腕ホルダー支柱を挿入し、自在金具のハンドルを時計回りに廻して固定します。
- ②自在金具のハンドルを反時計回りに廻して、屈曲上肢ホルダー支柱の高さと角度を調節し、ハンドルを時計回りに廻して固定します。
- ③自在金具のハンドル操作で取付高さの上下、回転、固定が正常に作動することを確認します。

可変型

- ①自在金具を手術台のサイドレールに取り付け、上から可変上腕ホルダー支柱を挿入し、自在金具のハンドルを時計回りに廻して固定します。
- ②自在金具のハンドルを反時計回りに廻して、可変上腕ホルダー支柱の高さと角度を調節し、ハンドルを時計回りに廻して固定します。
- ③自在金具のハンドル操作で取付高さの上下、回転、固定が正常に作動することを確認します。
- ④クランプレバーを反時計回りに回し上腕ホルダーアームの角度を調節し、クランプレバーを時計回りに回し上腕ホルダーアームの回転を固定します。
- ⑤クランプレバーの操作で上腕ホルダーアームの回転と固定が正常に作動することを確認します。

2) 操作方法又は使用方法

垂直型

- ①自在金具を手術台のサイドレールに取り付け、上から垂直上腕ホルダー支柱を差し込み、ハンドルを時計回りに廻して支柱を固定します。
- ②ハンドルを反時計回りに廻して取り付け高さや角度を調節し、任意の位置でハンドルを時計回りに廻して固定します。

屈曲型

- ①自在金具を手術台のサイドレールに取り付け、上から屈曲上腕ホルダー支柱を差し込み、ハンドルを時計回りに廻して支柱を固定します。
- ②ハンドルを反時計回りに廻して取り付け高さや角度を調節し、任意の位置でハンドルを時計回りに廻して固定します。

可変型

- ①自在金具を手術台のサイドレールに取り付け、上から可変上腕ホルダー支柱を差し込み、ハンドルを時計回りに廻して支柱を固定します。
- ②自在金具のハンドルを反時計回りに廻して取り付け高さや角度を調節し、任意の位置でハンドルを時計回りに廻して固定します。
- ③クランプレバーを反時計回りに回し上腕ホルダーアームの角度を調節し、クランプレバーを時計回りに回し可変上腕ホルダー支柱の回転を固定します。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- ①自在金具のハンドルが確実に固定されているか確認するこ

と。確実に固定されずに使用されますと、機器が動いたり落下するなどの思わぬ事故の原因になります。

- ②患者の上腕を支えたままでハンドルの操作をしないこと。垂直上腕ホルダー支柱又は屈曲上腕ホルダー支柱、可変上腕ホルダー支柱が急激に曲がり、思わぬ事故の原因になります。
- ③患者の上腕を支えたままでクランプレバーの操作をしないこと。可変上腕ホルダー支柱が急激に曲がり、思わぬ事故の原因になります。
- ④ハンドル部に意図せず使用者や患者が触れることのないよう注意すること。ハンドルがゆるむことにより、機器が動いたり落下するなどの思わぬ事故の原因になります。
- ④関節用クッション中央部に許容負荷荷重(10kgf)以上の負荷を加えないこと。機器の破損の原因になります。
- ⑤使用後は清拭作業を行い、機器を清潔に保ち使用すること。
[清拭作業が不十分な場合は、菌の発生により人体に影響を及ぼす場合があります。機器を清潔に保ちご使用ください。]
・使用可能な洗浄・消毒液の一例として、アルコール(70%)、4級アンモニウム系・塩化ベンザルコニウム(0.1~0.2%)をご使用ください。
- ⑥金属腐食性の強い消毒液(ポピドンヨード、次亜塩素酸ナトリウムなど)は使用しないこと。[本体の腐食の防止]

【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉

- ・保管環境

周囲温度-20~60℃ 相対湿度 10~90% 気圧 500~1060hPa

〈耐用期間〉

- ・本機の耐用期間は10年です。(自己認証(当社データ)による)

※正規の使用方法、保守点検、消耗品などの交換を行った場合に限る。

- ・クッション部品は使用環境によって異なります。

【保守・点検に係る事項】

〈使用者による保守点検(日常点検)〉

- ・サイドレールへの接続状態の確認。
- ・外観の破損状態の確認。
- ・取付状態の確認。
- ・各部が正確かつ安全に固定及び解除できることの確認。
- ・ゆるみ、ガタ、傾き、臭気などの確認。

以上について点検を行い、少しでも「おかしいな?」と感じたらすぐに使用を中止すること。

しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に清掃を行なった後、必ず機器が正常にかつ安全に作動することを確認すること。

〈業者による保守点検〉

業者による保守点検を実施する場合は、弊社または医療機器修理業者などの有資格者へ依頼してください。

〈消耗品〉

ご使用によって磨耗や劣化、外観の変化、破損が予測される
部品です。修理や交換の場合は保証の対象外となります。

- ・関節用クッション

●機器を廃棄するとき

機器や交換した部品を廃棄するときは、感染予防を十分行ない、その時点での法規制に従い、適切な処理をしてください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者
タカラメディカル株式会社
TEL : 06-6499-3461
販売業者